

大分県報

平成二十九年
号外（九）
三月一日

（水曜日）

目次

公 告

平成二十九年度全期技能検定の実施……………一
平成二十九年度前期技能検定の実施……………三

公 告

職業能力開発促進法（昭和四十四年法律第六十四号）第四十六条第二項及び職業能力開発促進法施行令（昭和四十四年政令第二百五十八号）第二条の規定により、次のとおり平成二十九年全期（随時実施する三級、基礎一級及び基礎二級）技能検定を実施する。

平成二十九年三月一日

大分県知事 広 瀬 勝 貞

一 随時実施する等級別検定職種

さく井（学科試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、パークッション式さく井施工法及びロータリー式さく井施工法に、実技試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、パークッション式さく井工事作業及びロータリー式さく井工事作業に限る。）、铸造（学科試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、鑄鉄鑄物鑄造作業法及び非鉄金属鑄物鑄造作業法に、実技試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、鑄鉄鑄物鑄造作業及び非鉄金属鑄物鑄造作業に限る。）、鍛造（学科試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、ハンマ型鍛造法及びプレス型鍛造法に、実技試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、ハンマ型鍛造作業及びプレス型鍛造作業に限る。）、機械加工（学科試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、旋盤加工法、フライス盤加工法及びマシンニングセンタ加工法に、実技試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、普通旋盤作業、数値制御旋盤作業、フライス盤作業及びマシンニングセンタ作業に限る。）、金属プレス加工、鉄工、建築板金（学科試験のうち、受検者が選択する科目にあつては内外装板金

平成二十九年三月一日

施工法及びダクト板金施工法に、実技試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、内外装板金作業及びダクト板金作業に限る。）、工場板金（学科試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、機械板金加工法に、実技試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、機械板金作業に限る。）、めっき（学科試験のうち、受検者が選択する科目にあつては電気めっき作業法及び溶融亜鉛めっき作業法に、実技試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、電気めっき作業及び溶融亜鉛めっき作業に限る。）、アルミニウム陽極酸化処理、仕上げ（学科試験のうち、受検者が選択する科目にあつては治工具仕上げ法、金型仕上げ法及び機械組立仕上げ法に、実技試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、治工具仕上げ作業、金型仕上げ作業及び機械組立仕上げ作業に限る。）、機械検査、ダイカスト（実技試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、ホットチャンバダイカスト作業及びコールドチャンバダイカスト作業に限る。）、電子機器組立て、電気機器組立て（学科試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、回転電機組立て法、変圧器組立て法、配電盤・制御盤組立て法、開閉制御器具組立て法及び回転電機巻線製作法に、実技試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、回転電機組立て作業、変圧器組立て作業、配電盤・制御盤組立て作業、開閉制御器具組立て作業及び回転電機巻線製作作業に限る。）、プリント配線板製造（学科試験のうち、受検者が選択する科目にあつてはプリント配線板設計法及びプリント配線板製造法に、実技試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、プリント配線板設計作業及びプリント配線板製造作業に限る。）、冷凍空気調和機器施工、染色（学科試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、糸浸染加工法及び織物・ニット浸染加工法に、実技試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、糸浸染作業及び織物・ニット浸染作業に限る。）、ニット製品製造（学科試験のうち、受検者が選択する科目にあつては丸編みニット製造法及び靴下製造法に、実技試験のうち、受検者が選択する科目にあつては丸編みニット製造作業及び靴下製造作業に限る。）、婦人子供服製造、紳士服製造、寝具製作、帆布製品製造、布はく縫製、家具製作、建具製作、紙器・段ボール箱製造（学科試験のうち、受検者が選択する科目にあつては印刷箱製造法、貼箱製造法及び段ボール箱製造法に、実技試験のうち、受検者が選択する科目にあつては印刷箱打抜き作業、印刷箱製箱作業、貼箱製造作業及び段ボール箱製造作業に限る。）、印刷、製本、プラスチック成形（学科試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、圧縮成形法、射出成形法、インフレーション成形法及びブロー成形法に、実技試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、圧縮成形作業、射出成形作業、インフレーション成形作業及びブロー成形作業に限る。）、強化プラスチック成形、石材施工（学科試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、石材加工法及び石張り施工法に、実技試験

大分県報号外（公告）

のうち、受検者が選択する科目にあつては、石材加工作業及び石張り作業に限る。））、パ
ン製造、ハム・ソーセージ・ベーコン製造、水産練り製品製造、建築大工、かわらぶき、
とび、左官、タイル張り、配管（学科試験のうち、受検者が選択する科目にあつては建築
配管施工法及びプラント配管施工法に、実技試験のうち、受検者が選択する科目にあつて
は、建築配管作業及びプラント配管作業に限る。））、型枠施工、鉄筋施工、コンクリート
圧送施工、防水施工、内装仕上げ施工（学科試験のうち、受検者が選択する科目にあつて
は、プラスチック系床仕上げ施工法、カーペット系床仕上げ施工法、鋼製下地施工法、ポ
ード仕上げ施工法及びカーテン施工法に、実技試験のうち、受検者が選択する科目にあつ
ては、プラスチック系床仕上げ工事作業、カーペット系床仕上げ工事作業、鋼製下地工事
作業、ボード仕上げ工事作業及びカーテン工事作業に限る。））、熱絶縁施工、サッシ施
工、ウエルポイント施工、表装、塗装（学科試験のうち、受検者が選択する科目にあつて
は、建築塗装法、金属塗装法、鋼橋塗装法及び噴霧塗装法に、実技試験のうち、受検者が
選択する科目にあつては、建築塗装作業、金属塗装作業、鋼橋塗装作業及び噴霧塗装作業
に限る。）及び工業包装

注 随時実施に掲げる職種のうち三級の試験については、当該職種に係る基礎一級又は基礎
二級に合格した者に限り受けることができるものとする。

二 試験の方法

実技試験及び学科試験によって行う。

三 技能検定試験の手数料、実施期日、実施場所等

1 実技試験

(一) 手数料

随時実施する三級、基礎一級及び基礎二級の手数料は、一万七千九百円とする。

(二) 実施期日

平成二十九年四月一日（土曜日）から平成三〇年三月三十一日（土曜日）までの間
で、大分県職業能力開発協会が指定する日とする。

(三) 実施場所

大分県職業能力開発協会から通知する場所とする。

(四) 問題の公表

実技試験の問題は、あらかじめ受検申請者に公表する。ただし、一部の検定職種に
ついては問題の全部又は一部を公表しない。

2 学科試験

(一) 手数料

手数料は、三千百円とする。

(二) 実施期日

平成二十九年四月一日（土曜日）から平成三〇年三月三十一日（土曜日）までの間
で、大分県職業能力開発協会が指定する日とする。

(三) 実施場所

大分県職業能力開発協会から通知する場所とする。

四 受検申請の手続

1 提出書類

技能検定受検申請書（以下「申請書」という。）

2 提出先

大分市大字下宗方字古川千三十五番地一

大分県職業能力開発協会

電話（〇九七）五四二―三六五一

3 受付期間

原則として、技能検定試験の実施期日の三十日前まで

4 受検申請に関する注意

(一) 申請書の用紙は、大分県職業能力開発協会が交付する。

なお、申請書の用紙を郵送で請求する場合は、封筒の表面に「技能検定受検申請書
用紙請求」と朱書し、返信用封筒（宛先を記入し、百四十円切手を貼ったもの）を同
封すること。

(二) 申請書を郵送する場合は、書留郵便とし、封筒の表面に「技能検定受検申請書在
中」と朱書すること。

五 手数料の納付方法

実技試験及び学科試験の手数料は、申請書に添えて納付すること。

六 合格者の発表等

1 実技試験又は学科試験の合格通知

実技試験又は学科試験のいずれかに合格した者については、大分県職業能力開発協会
が、本人宛書面で通知する。

2 技能検定合格証書の交付

随時実施する三級、基礎一級及び基礎二級の技能検定合格者に、大分県知事から交付
する。

七 その他

その他

全期技能検定は、外国人の技能実習制度に係る研修成果の評価及び修得技能等の認定に活用するものである。したがって、随時実施する三級の試験については、受検しようとする職種に係る基礎一級又は基礎二級に合格した者に限り受けることができるものとする。なお、不明な点については、大分県商工労働部雇用労働政策課又は大分県職業能力開発協会に問い合わせること。

職業能力開発促進法（昭和四十四年法律第六十四号）第四十六条第二項及び職業能力開発促進法施行令（昭和四十四年政令第二百五十八号）第二条の規定により、次のとおり平成二十九年前期技能検定を実施する。

平成二十九年三月一日

大分県知事 広 瀬 勝 貞

一 実施する等級別検定職種

1 一級及び二級

園芸装飾、造園、機械加工（学科試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、旋盤加工法、フライス盤加工法、研削盤加工法及びマシニングセンタ加工法に、実技試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、普通旋盤作業、数値制御旋盤作業、フライス盤作業、数値制御フライス盤作業、平面研削盤作業、円筒研削盤作業及びマシニングセンタ作業に限る。）、放電加工（学科試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、数値制御彫り放電加工法及びワイヤ放電加工法に、実技試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、数値制御彫り放電加工作業及びワイヤ放電加工作業に限る。）、木工（学科試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、製作作業法及び構造物鉄工作業法に、実技試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、製作作業法及び構造物鉄工作業法に限る。）、建築板金（学科試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、内外装板金施工法及びダクト板金施工法に、実技試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、内外装板金作業及びダクト板金作業に限る。）、工場板金（学科試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、曲げ板金加工法及び打出し板金加工法に、実技試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、曲げ板金作業及び打出し板金作業に限る。）、仕上げ（学科試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、治工具仕上げ法、金型仕上げ法及び機械組立仕上げ法に、実技試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、治工具仕上げ作業、金型仕上げ作業及び機械組立仕上げ作業に限る。）、電子機器組立て、電気機器組立て（学科試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、配電盤・制御盤組立て法に、実技試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、

配電盤・制御盤組立て作業に限る。）、光学機器製造（学科試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、光学ガラス研磨法に、実技試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、光学ガラス研磨作業に限る。）、建設機械整備、婦人子供服製造（学科試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、婦人子供注文服製作法に、実技試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、婦人子供注文服製作作業に限る。）、家具製作（学科試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、家具手加工作業法に、実技試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、家具手加工作業に限る。）、建具製作（学科試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、木製建具手加工作業法に、実技試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、木製建具手加工作業に限る。）、印刷、プラスチック成形（学科試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、射出成形法に、実技試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、射出成形作業に限る。）、強化プラスチック成形（学科試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、積層成形法に、実技試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、手積み積層成形作業に限る。）、石材施工（学科試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、石張り施工法に、実技試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、石張り作業に限る。）、とび、左官、築炉、ブロック建築、タイル張り、畳製作、防水施工（学科試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、ウレタンゴム系塗膜防水施工法、アクリルゴム系塗膜防水施工法、セメント系防水施工法、シーリング防水施工法及びFRP防水施工法に、実技試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、ウレタンゴム系塗膜防水工事作業、アクリルゴム系塗膜防水工事作業、セメント系防水工事作業、シーリング防水工事作業及びFRP防水工事作業に限る。）、内装仕上げ施工（学科試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、プラスチック系床仕上げ施工法、鋼製下地施工法及びボード仕上げ施工法に、実技試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、プラスチック系床仕上げ工事作業、鋼製下地工事作業及びボード仕上げ工事作業に限る。）、熱絶縁施工（学科試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、保温保冷工事作業に限る。）、サッシ施工、化学分析、表装（学科試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、表具作業及び壁装施工法に、実技試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、表具作業及び壁装作業に限る。）、塗装（学科試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、建築塗装法及び金属塗装法に、実技試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、建築塗装作業及び金属塗装作業に限る。）、広告美術仕上げ（学科試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、広告板粘着シート仕上げ法に、実技試験のうち、受検者が選択する科目にあ

平成二十九年三月一日

大分県報号外（公告）

2 単一等級

つては、広告面粘着シート仕上げ作業に限る。）及びフラワー装飾
路面標示施工（学科試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、溶融ペイントハンドマーカール施工法に、実技試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、溶融ペイントハンドマーカール工事作業に限る。）及び塗料調色

3 三級

園芸装飾、造園、機械加工（学科試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、旋盤加工法、フライス盤加工法及びマシニングセンタ加工法に、実技試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、普通旋盤作業、数値制御旋盤作業、フライス盤作業及びマシニングセンタ作業に限る。）、仕上げ（学科試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、機械組立仕上げ法に、実技試験のうち、受検者が選択する科目にあつては、機械組立仕上げ作業に限る。）、機械検査、電子機器組立て、建築大工、とび及びフラワー装飾

二 試験の方法

実技試験及び学科試験によつて行ふ。

三 技能検定の手数料、実施期日、実施場所等

1 実技試験

(一) 手数料

一級、二級、三級及び単一等級の手数料は、一万七千九百円とする。

ただし、三級受検の在校生（公共職業能力開発施設又は職業能力開発総合大学校の訓練生（短期間の訓練課程を受けている者を除く。）、認定職業訓練施設の訓練生（短期間の訓練課程を受けている者及び就職している者を除く。）、高等学校又は中等教育学校の後期課程の在校生、専修学校又は各種学校の在校生、高等専門学校又は在校生、短期大学の在学生及び大学の在学生をいう。）にあつては、前記の金額に三分の二を乗じて得た額とする。この場合、百円未満の端数は、四捨五入する。

(二) 実施期日

平成二十九年六月五日（月曜日）から同年九月十日（日曜日）までの間で大分県職業能力開発協会が指定する日とする。

(三) 実施場所

大分県職業能力開発協会から通知する場所とする。

(四) 問題の公表

実技試験の問題は、あらかじめ平成二十九年五月二十九日（月曜日）に、大分県職

業能力開発協会にて公表する。ただし、一部の検定職種については問題の全部又は一部を公表しない。

2 学科試験

(一) 手数料

手数料は、三千百円とする。

(二) 実施期日

検定職種ごとに次の表に掲げるとおりとする。

検定職種	実施期日
<p>三級 園芸装飾、造園、機械加工（旋盤加工法、フライス盤加工法及びマシニングセンタ加工法に限る。）、仕上げ（機械組立仕上げ法に限る。）、機械検査、電子機器組立て、建築大工、とび及びフラワー装飾</p>	<p>平成二十九年七月十六日（日曜日）</p>
<p>一級及び二級 造園、光学機器製造（光学ガラス研磨法に限る。）、プラスチック成形（射出成形法に限る。）、とび、築炉、防水施工（ウレタンゴム系塗膜防水施工法、アクリルゴム系塗膜防水施工法、セメント系防水施工法、シーリング防水施工法及びFRP防水施工法に限る。）、サッシ施工、化学分析及び塗装（建築塗装法及び金属塗装法に限る。）、</p>	<p>平成二十九年八月二十日（日曜日）</p>
<p>一級及び二級 機械加工（旋盤加工法、フライス盤加工法、研削盤加工法及びマシニングセンタ加工法に限る。）、鉄工（製缶作業法及び構造物鉄工作业法に限る。）、電子機器組立て、建設機械整備、婦人子供服製造（婦人子供注文服製作法に限る。）、家具製作（家具手加工作業法に限る。）、建具製作（木製建具手加工作業法に限る。）、印刷、左官、畳製作、内装仕上げ施工（プラスチック系床仕上げ施工法、鋼製下地施工法及びボード仕上げ施工法に限る。）及び広告美術仕上げ（広告板粘着シート仕上げ法に限る。）、</p>	<p>平成二十九年八月二十七日（日曜日）</p>
<p>一級及び二級 園芸装飾、放電加工（数値制御彫り放電加工法及びワイヤ放電加工法に限る。）、建築板金（内外装板金施工法及びダクト板金施工法に限る。）、工場板金（曲げ板金加</p>	

工法及び打出し板金加工法に限る。)、仕上げ(治工具仕上げ法、金型仕上げ法及び機械組立仕上げ法に限る。)、電気機器組立て(配電盤・制御盤組立て法に限る。)、強化プラスチック成形(積層成形法に限る。)、石材施工(石張り施工法に限る。)、ブロック建築、タイル張り、熱絶縁施工(保温保冷施工法に限る。)、表装(表具工作法及び壁装施工法に限る。)及びフラワー装飾
単一等級
路面標示施工(溶融ペイントハンドマーカー施工法に限る。)及び塗料調色

平成二十九年九月三日
(日曜日)

(三) 実施場所

大分県職業能力開発協会から通知する場所とする。

四 受検申請の手続

1 提出書類

(一) 技能検定受検申請書(以下「申請書」という。)

(二) 実技試験又は学科試験の免除を受けようとする場合は、その資格を証する書面

2 提出先

大分市大字下宗方字古川千三十五番地一

大分県職業能力開発協会

電話 (〇九七) 五四二―三六五一

3 受付期間

平成二十九年四月三日(月曜日)から同月十四日(金曜日)まで。ただし、郵送によ

る申請書は、同日までの消印のあるもの限り受け付ける。

4 受検申請に関する注意

(一) 申請書の用紙及び受検案内は、大分県職業能力開発協会で作付する。

なお、申請書の用紙を郵送で請求する場合は、封筒の表面に「技能検定受検申請書用紙請求」と朱書し、返信用封筒(宛先を記入し、百四十円切手を貼ったもの)を同封すること。

(二) 申請書を郵送する場合は書留郵便とし、封筒の表面に「技能検定受検申請書在中」と朱書すること。

五 手数料の納付方法

実技試験及び学科試験の手数料は、申請書に添えて納付すること。ただし、実技試験又は学科試験の免除を受けようとする場合は、当該試験に係る手数料の納付は要しない。

なお、申請書を受け付けた後は、申請を取り消し、又は試験を受けなかった場合でも手数料は返還しない。

六 合格者の発表等

1 技能検定合格者の発表

技能検定合格者の氏名は、三級職種については平成二十九年八月二十五日(金曜日)、一級、二級及び単一等級職種については、同年九月二十九日(金曜日)に大分県庁舎本館一階の県民ホールに掲示するとともに大分県のホームページに掲載し、本人宛書面で通知する。

2 実技試験又は学科試験の合格通知

実技試験又は学科試験のいずれかに合格した者については、大分県職業能力開発協会が、三級職種については平成二十九年八月二十五日(金曜日)、一級、二級及び単一等級職種については同年九月二十九日(金曜日)に本人宛書面で通知する。

3 技能検定合格証書等の交付

(一) 技能検定合格証書

一級及び単一等級の合格者には厚生労働大臣から、二級及び三級の合格者には、大分県知事から交付する。

(二) 技能士章

一級の合格者には一級技能士章、単一等級の合格者には単一等級技能士章、二級の合格者には二級技能士章、三級の合格者には三級技能士章が、厚生労働大臣から交付される。

七 その他

技能検定について不明な点は、大分県商工労働部雇用労働政策課又は大分県職業能力開発協会に問い合わせる。